

繁和産業

“人と環境にやさしいビジネス”を全社共通テーマに掲げる繁和産業。

将来の新たな柱となるビジネスの探索に全社一丸で取り組んでおり、新規分野や新規商材の開拓に力を注いでいる。第90期・2017年9月期は売上高が約166億円となった。今期は前期比7・4%増の約178億円を計画している。部署間・

拠点間の連携をさらに高めながら、業容拡大を目指す。

指す。

前期売上高を部門別にみると、化学品部は前期に比べ9・3%増となった。液晶ディスプレイ業界の中国シフトにより液晶関連材料が減少した

半面、従来商材で新規用途の開拓が進んだ。今期売上高は同4・2%増を目指す。

精密化学品部は同4・1%増。新規取引先や新

回実施し、情報共有を図っている。ユーザーの新規分野進出などへの対応を強化するため、部門を越えた連携にも力を注いでいる。

規仕入先の開拓といった新規ビジネスの拡充が奏功した。「1顧客1品目ではなく、取引商材の幅を広げよう(同社)」との考えの下、大阪の本社と東京支店との合同会議を年数

回実施し、情報共有を図っている。ユーザーの新規分野進出などへの対応を強化するため、部門を越えた連携にも力を注いでいる。

新分野・商材開拓に全力

物資部は同18%減。東京オリピック関連需要の盛り上がり遅れも影響した。ただ首都圏での再開発を中心とした土木建築関連需要などを見込み今期は同18・5%増を

目指している。

目指す。

繁和産業では、引き続き汎用品をベースとしつつ「他社が取り扱っていない商材・分野の探索」を全社で推進していく。

目指している。

開発部は、沖縄の健康食品の中国展開に着手。6月には上海市で開催された展示会へのメーカーの出展を仲介した。今後も食品分野を軸に日本から中国への輸出展開の拡充を模索していく。開発部は今期、同21・7%増を目指す。